



津波の記憶

明応地震 [1498年9月20日]

渥美で大津波があったと記録されている。推定される津波の高さは何と5～6メートル！

宝永地震 [1707年10月28日]

東海沖、東南海沖で巨大地震が同時発生し、大津波が発生。海沿いの住民は山へ逃げ、赤羽根地域では多くの漁船が破損したと記録されている。

安政東海地震 [1854年12月23日]

表浜、三河湾沿岸ともに大津波が襲った。

昭和東南海地震 [1944年12月7日]

大津波が発生。海沿いの住民は山へ逃げ、赤羽根地域では多くの漁船が破損したと記録されている。

【参考資料】田原町史・赤羽根町史・
愛知県防災会議資料
発生年月日はすべて西暦



そのとき、どこにいるか

防災マップを見て、自宅や職場が津波浸水危険区域でないからといって安心するのは早計です。重要なのは、あなたや家族が「そのとき、どこにいるか」です。釣りや海水浴などのレジャーはもちろん、ごみ拾いなどのボランティア活動で海岸周辺にいることも考えられます。ですから、日ごろから津波浸水危険区域や警報が発令されたときの行動を把握しておくことが肝心です。

とにかく、逃げる

津波からわが身や家族を守るには、避難する以外に方法はありません。海岸や津波浸水危険区域にいるとき強い揺れを感じたら、すぐに高台へ避難しましょう。また、揺れがそれほどではなくても津波が発生し、警報が発令されるケースがあります。揺れの程度で自己判断せず、一斉放送が流れた場合は、その指示に従うようにしてください。